

## 平成30年度第5回神栖市行財政改革推進委員会 会議要旨

日 時	平成30年10月18日(木) 午後1時30分～午後3時30分
場 所	神栖市役所 3階 庁議室
案 件	(1) 改革チャレンジプランの評価・所見の集約について
出席委員数	5名
傍聴者	0名
会議の要旨等	
<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 案件</p> <p>(1) 改革チャレンジプランの評価・所見の集約について</p> <p>改革チャレンジプランの平成29年度取組状況に対する行財政改革推進委員会の所見の集約作業を実施(プラン1～プラン24)。</p> <p>以下、集約作業中、委員から出た主な意見を掲載。</p> <p>○プラン1 課題対応力を持つ人材の育成(職員課)</p> <p>委員:課題は現場にあります。市民生活の場に足を運ぶ必要があります。まず、そういった意識、姿勢が必要です。そして現場対応力を持つ人材を育成してください。</p> <p>○プラン9 マイナンバーカードの有効活用(市民課)</p> <p>委員:マイナンバーカードの取得者そのものを増やすのか、色々な利用方法を検討、準備、PRして、増やしていくのか、悩ましいところがあります。「にわとりが先か、たまごが先か」、過去においては、小さく産んで、育てていく時代がありましたが、今の世の中では、大きく産まなければ、変化に対応できない。「にわとりが先」の時代です。今は取得者の割合が人口の11%程度とのことです。ですから、まずマイナンバーカードの取得者自体を増やすことも大事だと思います。取得者が増えれば、有効活用も広がっていくと思います。</p> <p>○プラン17 補助金等の整理合理化(財政課)</p> <p>委員:県内他市等と比べても、神栖市の色々な補助金制度は誇れるものであると思います。ただし、見極めも大事で、あえて言えば、「あれば便利、なくてはならぬ」といった、メリハリも必要であると思います。補助金は、増やせばきりがなくなってしまうので、特に「あれば便利」の部分は見極めが必要であると思います。</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>	